

#### 14. 近衛信輔（信尹）の歌碑

近衛信輔（信尹）は安土桃山時代の公家。書道にも優れ、寛永の三筆の一人に数えられています。

文禄3年（1594）、後陽成天皇の勅勘により坊津に配流される途中、垂水の海潟に10日間逗留しています。このとき詠んだ歌が、歌碑に刻まれた「島が富士ここが清見の寺ならばすさきの方は三保の松原」と言われ、洲崎をとおして見る桜島は、三保の松原をとおして富士山を眺めるようだと言っています。

昭和46年（1972）、当時の鶴田組社長・鶴田一雄氏が建立、書は川井田万顕秀氏によるものです。

